

自然エネルギー上小ネット分科会

＜独立型太陽光発電研究会＞

1. 構成メンバー

自然エネルギー上小ネット太陽光部会を核として発足。基本的には部会メンバーを分科会員と位置付ける。

2. 役員

会長：栗田力（自然エネルギー上小ネット副会長・太陽力㈱営業統括部長）

副会長：渡辺猛（自然エネルギー上小ネット理事・長野通研代表）

理事：川田富夫（自然エネルギー上小ネット理事・エコ屋ごしょうらく代表）

理事：荻原静夫（自然エネルギー上小ネット理事）

理事：棚橋靖（アート・ミヤジマ代表取締役社長）

理事：松本博之（太陽力㈱広域販売部長）

理事：増本裕紀（クリエイター・セス常務取締役）

3. 研究会のミッション及び方針

自然エネルギーの普及・促進のキー・ワードは「小規模分散型」。自然エネルギーの代表選手である太陽光発電の小規模分散型の究極のスタイルは「独立型」と位置付け、そのキットの研究・開発を手掛ける。太陽光発電を身近で、扱いやすくしかも安価で提供する礎を構築する。

4. 平成 25 年度事業計画

昨年度、太陽力㈱を中心として、長野県の自然エネルギー自給コミュニティ支援事業補助金を得て、大規模容量のオフグリッド型ソーラーキット実証実験を行った。

このデータを基礎として、今春3タイプ（大容量、移動型、ハンディ型）の独立型キットをセットアップし、商品化を計画している。

これらを商品化するに当たり、実際の仕様をどうするか、具体的に市場に出すに当たっての実証実験等々を実施、今年度末までには、すべての商品データを取りまとめ、商品としてのセットアップを完了し、市場に投下する。

自然エネルギー上小ネット 小水力分科会の事業計画

竹花 伍男

只今準備中です。推進3役は決めましたが、趣旨に賛同できる会員を募集します。

(1) 分科会の目的

自然が持つ流体エネルギーを機械的運動エネルギーへ効率よく変換できる構造の小水力変換装置を開発、製造、稼働することで循環型の社会に貢献することを目的とする。

(2) メンバー

- ・分科会会長
- ・副 寿永岳史
- ・会計 荻原静夫
- ・会員 募集中 (現状 2～3名) 竹花伍男

(3) 当面、提案研修したい事業案

- ・事案名 : 用水路における小水力発電
- ・候補地 : 上田市腰越地区の用水路
(地方事務所農地整備課計画調査係、腰越自治会、依田川沿岸土地改良区との調整済み又は同意又は協力あり)
- ・活動履歴 : 「翼車型水力発電装置」を用いた発電実験を実施
- ・課題 :
 - ①事業化に向けた民間の協働者(小水力分科会会員)
(どのようにステークホルダーを構成するか)
 - ②事業計画を検討着手中
 - ・1村1自然エネルギー募集)に応募すべく事業計画案を作成中
 - ・行政及び大学等外部団体との連携関係
 - ・自然エネルギー、上小ネット、信州ネットの支援体制
 - ・資金調達としての補助金申請
 - ・水利権の獲得(目的場所の水利権は調整済み)

以上

自然エネルギー上小ネット・ファイナンス研究会

1、 目的と活動内容

本会は、地域内において地域資源を活用した再生可能（自然）エネルギーの普及および技術開発に必要な資金調達の手法を研究提案。またその資金運用管理組織として設立する機関で、資金の運用と共に未来に向け持続可能（サステナブル）社会構築に資するシステムを研究提案してゆく。この目的の為に以下の要項を含む事業スキームを研究する。

- 地域連合又は自治体が特定目的基金「エコ創エネ基金」を設置、これに市民、企業、金融からも出資参加出来る官民ファンドを形成する。
- このファンドを管理する官民協働公益組織を設立、再生可能エネルギー活用および技術開発事業に出資運用する。
- また、この組織は再生可能エネルギーの導入を進めながら、サステナブル社会（スマートシティ）を目指して総合的な未来型エネルギーシステム（省エネ、低エネ、スマートグリッド等）活用を地域協働、地産地消により推し進める役割も担うものと規定する。

（活動の理念：地域連携、官民協働）

2、 役員、構成メンバー（予定）

代表：川田富夫（自然エネ上小ネット会計理事）、副代表・会計：太田厚（太田鉄工所）

監事：栗田力（株太陽力）、荻原静夫（上小ネット監事）

理事：林一六（うえだ地球を楽しむ会）、高橋伸英（信州大学）、

土屋孝雄、三井和哉、池田総一郎、半田大介（上田市議・GEEP）

市川渡（KIS）、松木義信（グルーラムハウス）、宮原英嘉（宮原酸素）、

安江大介（三矢工業）

会員：本会の目的に賛同する個人、団体、行政機関など申し出により任意に入退会できるものとします。

活動報告

- 研究会設立総会にむけ準備中（6月中を予定）
- 長野県・職員による政策研究、の研究テーマに採択され現在チーム（9名）に4名が参加、5月14日のキックオフ研修をかわきりに、政策提言（9月）に向け研修・研究研鑽しております。
- 個別自治体様より設置検討のお申し出があり、共同研究が出来れば宜しいと願っております。
- 本年度事業計画は、県・政策研究会または自治体様共同研究とリンクして考察しております。

自然エネルギー上小ネット 省エネ分科会

「省エネ出前講座」 5ヶ年事業計画

(1) 目的

- ①地域・家庭・小規模企業への省エネ出前講座を通じて省エネ方法を家庭・企業に定着させる。もったいない(意識)を“くせ”に、光熱費のムダを減らし快適生活を実現し、自己実現と地域貢献を目指す。
- ②「家庭の省エネエキスパート検定」受験対策講座を開講し、合格を目指すとともに、合格後の活動の場を提供する。

(2) 構成メンバー

責任者：宇野親治， 副：末広繁和， 会計：春山敏雄， メンバー 11名

(3) 事業戦略 (SWOT 分析より)

	◆スタートとしての戦略 (S+O)	◆持続可能な組織化を目指す戦略 (O+W、S+T)
だれに	自治会・任意団体中心、小規模企業へ出前講座	小規模企業中心。自治会・任意団体等出前講座
何を	家庭及び事業所の光熱費削減の啓発と診断	事業所診断からシステム構築へ
どんな価値を	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ・自然エネの知識啓発から知恵にすることで、光熱費削減、CO2削減、コストダウンを支援する ・エネルギー費用の外部流出を抑える(省エネと自然エネの地産地消) 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーインテリジェントによる、家庭の自立的省エネ活動・自然エネ活用の支援。 ・事業所のコストダウンからマネジメントシステムの構築支援、 ・地域と行政の一体化

(4) インテリジェントシルバー工房 (自己実現と地域貢献) 事業計画

自然エネルギー上小ネット 省エネ分科会		支援連携事業者
出前講座の事業展開 (5ヶ年計画)		省エネ専門家育成
◆導入期 (2013.9 ～2014.8)	<ol style="list-style-type: none"> ①地域や市民へ省エネ啓発活動 ②自治会、任意団体へ出前開始 ③小規模企業へ出前開始 	<ul style="list-style-type: none"> ◆専門家育成制度 <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ実践者養成 ・省エネエキスパート検定受験講座
◆成長期 (2014.9 ～2016.8)	<ol style="list-style-type: none"> ④地域や市民へ省エネ啓発活動 ⑤自治会、任意団体へ出前本格化 ⑥小規模企業へ出前本格化 <p style="text-align: center;">(NPO等の法人化)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆講師育成 <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座レク講師 ・出前講座WS講師
◆成熟期 (2016.9 ～2018.8)	<ol style="list-style-type: none"> ⑦地域や市民へ省エネ啓発活動 ⑧自治会、任意団体へ出前本格化 ⑨中小企業へ出前本格化 ⑩シルバーインテリジェント事業(専門技術者派遣) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育テキスト開発 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の省エネテキスト ・事業所省エネテキスト ・EMS診断テキスト ◆有資格者斡旋 <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止推進員 ・家庭の省エネ診断員(うちエコ診断員) ・省エネエキスパート(家庭の省エネ) ・省エネプロフェッショナル(事業所診断) ・エコアクション21審査人(EMS)